口未工学院		学标	四港午庄	2019年度( <sup>-</sup>	亚战21年度)	科目名	応用電装	改借宝羽		
		子似	用舑干及	2019年度(-	平成31年長)	州日石	心用电数	全佣夫百		
科目基礎情	1	/ <del>//</del>		<u> </u>	1, 1				/// <del>11</del> 0	
開設学科 	一級自動車整備	備料		コース名	なし			開設期	後期	
対象年次	3年次			科目区分	必修			時間数	156時間	
単位数	5 単位				受業形態 実習					
<b>炎科書/教材</b>	適時レジュメ	・資料を	配布する。	参考書・参:	考資料等は、	授業中に指	示する。/実 <sup>注</sup>	習車、実習	教材など 	
担当教員情	· 報					ı		,		
担当教員	大瀧昇利、清水	水拓也、」	山本昌孝			実務経験の存	有無・職種	有・一級目	自動車整備士	
アクチュエ· こと、また·		ールユニッ	· ト・CANBA	AS通信などの	の回路・信号	・異常検知につ			が点検、診断技術教科書内容を作業	
アクチュエー こと、また <b>到達目標</b> 2年次に るボディ電	ータ・コントロ- その知識に基づい 習得したボディ電	ールユニッ いた点検・ 電装装置の の整備につ	かける 大・CANBA 故障診断作 か知識・技術 かいて、常に	AS通信などの 業が正確に を更に発展し 安全とチーム	の回路・信号出来ることを	・異常検知にた目的とする。	かいて「シャミ	ン電子制御」		業を通して理解する と習車に搭載される
アクチュエー こと、また <b>到達目標</b> 2年次に るボディ電 ナて、基本	ータ・コントロー その知識に基づい 習得したボディ電 装制御装置などの 的な作業の反復を	ールユニッ いた点検・ 電装装備に を行うこと	から 故障診断作 知識・技術 かいて、常に なをなどを目	AS通信などの 業が正確にと を更に発展し 安全とチーム 標とする。	か回路・信号 出来ることを ン、3年次講 ムワーク、主	・異常検知にて目的とする。	シャミ   学書知識の確認   取り組むこと	ン電子制御」 忍として、 様 と、また、 4	教科書内容を作業をなメーカーの実年次科目でもある	業を通して理解する 受習車に搭載される インターン実習に
マクチュエ・ こと、また。 <b>引達目標</b> 2年次に るボディ電 けて、基本 <b>改育方法等</b>	ータ・コントロー その知識に基づい 習得したボディ電 装制御装置などの 的な作業の反復を 様々なメーカ	ールユニッ ・ 数装備 こと で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	ト・CANBA 故障診断作 知識・技術 いて、だを目 制御技術を持 各々が主体的	AS通信などの 業が正確にと を更に発チーム を全する。	の回路・信号 出来ることを し、3年次講 ムワーク、主 で イ電装装置を	・異常検知にて目的とする。  義科目での教 体性を意識して	シいて「シャミ 学書知識の確認 下り組むこと	ン電子制御」 忍として、 様 た、 また、 4	教科書内容を作業	業を通して理解する 言習車に搭載される カインターン実習ん
アクチュエー こと、また <b>到達目標</b> 2年次に るボディ電	マタ・コントローその知識に基づい習得したボディをと制御業の反復を的な作業の反復を様々な故ら四点検・な故らよう学生の主体的な協行学生の主体の移行	ーいた 電かを コート では、 こと ででは、 こと ででは、 こと ででは、 こと ででは、 こと ででは、 こと ででは、 こと ででは、 こと ででは、 ここと には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	ト・CANBA 対職・ 対職でないである。 ・ 、 だを目がます。 制名を ー・ でのである。 制御がまます。 でのである。 にしている。 にしている。 にしている。 にはい。 にはい。 にはい。 にはい。 にはいる。 にはいる。 には、 にはい。 にはい。 には、 にはい。	AS通信なに を安標とする。 を担実事象に を一点の を一。 を一。 を一。 を一。 を一。 を一。 を一。 を一。	か回路・信号 出来ることを 3 年 次 、 マーク 、 ・ で 電装装 エール する で も で も で も で も で り で り で り で り で り で り	・異常検知にで 目的とする。 義科目で 意識 して なり つ ク を まという。 はどの ク ク を の で で き で で き で で 意い で き で で き に で か ら い く く え る き に つ い で き に で き に で き に で き に で き に で き に で き に で ま で き に で き に で ま で き に で ま で き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で ま に き に で に で ま に き に で に で ま に で ま に で ま に で ま に で ま に で ま に で ま に で に で	斗書知識の確認で ・取り組むことを アクチえ、 中の私授業で ・最と。ただし、	で 電子 と ま し た た い カ 車 に に る も も は れ と ま も は れ に れ に れ る も は も は も は も も は も も も も は も も も も も	教科書内容を作業 をなメーカーの実 年次科目でもある	業を通して理解する ででででででは では、 では、 では、 では、 では、 では、

100% 試験を総合的に評価する

試験

評価方法

授業計画(1回~15回)※実習内容や順番は変更する可能性がある				
	授業内容(主にグループワーク)	各回の到達目標		
1 回	電装整備(安全管理、災害防止)	安全作業について学び、災害防止・作業効率について考え行動できる		
2 🗓	集中ドアロックシステム	構造、機能、故障診断について理解する		
3 回	リモートコントロールエントリーシステム	構造、機能、故障診断について理解する		
4 回	インテリジ゛ェントキーシステム	構造、機能、故障診断について理解する		
5 回	オートライトシステム	構造、機能、故障診断について理解する		
6 回	ハロゲンヘッドランプ	構造、機能、故障診断について理解する		
7 回	キセノンヘッドランプ	構造、機能、故障診断について理解する		
8 🗉	LEDヘッドランプ	構造、機能、故障診断について理解する		
9 🗉	ターンシグナルランプ	構造、機能、故障診断について理解する		
10回	クリアランス/テールランプ	構造、機能、故障診断について理解する		
110	パワーウィンド	構造、機能、故障診断について理解する		
12回	ドアミラー	構造、機能、故障診断について理解する		
13回	各種ランプ、スイッチ	交換、点検を実務レベルで出来るようにする		
14回	L A Nシステム①	構造、機能、故障診断について理解する①		
15回	LANシステム②	構造、機能、故障診断について理解する②		

授業計画(16回~20回)				
□	授業内容	各回の到達目標		
16回	ボディーコントロールシステム①	構造、機能、故障診断について理解する①		
17回	ボディーコントロールシステム②	構造、機能、故障診断について理解する②		
18回	ボディーコントロールシステム③	構造、機能、故障診断について理解する③		
19回	ボディーコントロールシステム④	構造、機能、故障診断について理解する④		
20回	ボディーコントロールシステム⑤	構造、機能、故障診断について理解する⑤		
21回				
22回				
23回				
2 4 回				
25回				
26回				
2 7 回				
28回				
29回				
30回				